

日本ユネスコ協会連盟「一杯のスプーン」緊急支援に参画 フィリピンにマスク約90万枚を寄贈



▲マスク贈呈の様子（1月31日）

アイリスオーヤマ株式会社（本社：宮城県仙台市、代表取締役社長：大山 晃弘）は、世界的な新型コロナウイルス感染症拡大の長期化を受けて、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟の「一杯のスプーン」緊急支援プロジェクトに参画しました。仙台ユネスコ協会を通じ、フィリピンユネスコクラブ調整委員会に約90万枚のマスクを寄贈しました。

マスクは1月31日に、フィリピンユネスコクラブ調整委員会（会長：セラフィン・アルビオーラ フィリピン教育大学教授）、および共同でプロジェクトを行うフィリピン教育大学（学長：ベルト・トゥガ博士）に贈呈されました。

■概要

寄贈先 : フィリピンユネスコクラブ調整委員会
 寄贈マスク : DISPOSABLE プリーツ型マスク ふつうサイズ
 数量 : 約90万枚

当社のマスクは、大連工場（中国・遼寧省）と蘇州工場（中国・江蘇省）での生産に加え、2020年には宮城県角田工場の一部を改修して国内生産を開始しています。

さらにアイリスグループとしてアメリカ、フランス、韓国でもマスクの生産を開始しており、これまでに約615万枚以上のマスクをアメリカの行政機関や医療機関、フランス政府、アジア諸国など世界各国に寄贈しています。

当社は、新型コロナウイルス感染症拡大の早期終息に向けて、今後も行政ならびに業界団体と連携を図りながら、必要な支援を行ってまいります。